

# 乙島っ子

令和3年度 NO. 53

令和4年 3月 1日 倉敷市立乙島小学校

## 「ことば」の力, 「ことば」は, 力

現在, 保健室掲示板に次が掲げられています。「ふわふわことば」「チクチクことば」…何があるでしょう。

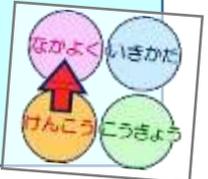


### ふわふわことば

- ・ありがとう
- ・〇〇さんのおかげだよ
- ・いっしょに〇〇しよう
- ・気にしないで

### ちくちくことば

- ・早くしろ
- ・むかつく
- ・あっちいけ
- ・うざい



この掲示が保健室にある意味を考えたいと思います。「ことば」は, 「心の健康」に影響を与えるということだと考えられます。そこに「ことば」の力があり, 結果として, 「ことば」は, 力であると考えられるのです。

令和三年度「明るい家庭づくり」作文  
優秀作文 受賞作品

わたしのおにいちゃん

乙島小学校 二年

森永 紗穂

わたしには、四つ上のおにいちゃんがいます。ようち園のときから早くおにいちゃんといっしょに小学校に行きたくて、一年生になったときはうれしくてたまりませんでした。でも、友だちから

「おにいちゃんって五年生なのにめっちゃ小さいよね。」  
と言われていやな気持ちになったことがあります。いえにかえてお母さんに話したら、

「ほんとうにそうよね。」

と大わらいされて、わたしの気持ちもむしざれた気分になりました。

二年生になって、お母さんがだいじなものを入れてあるひき出しをこっそり見ていたら、ちよつと太いノートを見つけた。気にな

って中を見たら、おにいちゃんが生まれたときのしゃんがはってありました。かおにも体にもくだがいつばいづいてるし、びつくりするぐらい小さくて、ちよつとなきそうになりました。むねがドキドキしてお母さんの

ところへもって行って、

「これはなに？」

とききました。  
かっつに見たのでおこられると思ったけど

お母さんは、  
「一生のたからもの。」  
と言っで見せてくれました。それは、おにいちゃん早く生まれてから、いえにかえる日までのようすを、いつばいしゃんをはってかんごしさんがつたえてくれてるノートでした。ノートのさいごにはたくさんの人がメッセージを書いてくれました。

「おにいちゃんも一生けんめい大きくなつたし、こんなにたくさんの人たちにたすけてもらつたんだよ。」

と言われて、おにいちゃんってすごいと思いました。

お母さんから毎日きらいな牛にゆうを出されてもんくを言いながらのんでるおにいちゃんはおもしろくてわらつてしまいます。いじわるも言われるし、けんかもいつばいしてなされるけど、学校に行くときにおもいにもつをもつてくれるやさしいおにいちゃんわたしは大すきです。

「おにいちゃんって…」は、チクチクことばということなのでしょうが、それに応じるお母さんの「寛容さ」に、心打たれます。さらに、「一生のたからもの」…と。なんて素晴らしいふわふわことばなのでしょう。その「ノート」も、ふわふわことばのメッセージでいっぱいだったことでしょうね。

「おにいちゃんって…」は、チクチクことばということなのでしょうが、それに

「おにいちゃんって…」は、チクチクことばということなのでしょうが、それに

「おにいちゃんって…」は、チクチクことばということなのでしょうが、それに

「おにいちゃんって…」は、チクチクことばということなのでしょうが、それに

「おにいちゃんって…」は、チクチクことばということなのでしょうが、それに